

教 授 会 議 事 録

日 時：平成 18 年 12 月 12 日（火）13 時 32 分から 14 時 38 分

場 所：電気通信研究所大会議室

出席者：議長（所長）他教授 26 名、助教授 12 名

議事に先立ち、議長から、教員の人事異動について、配付資料により報告があった。

議事録の確認

平成 18 年 11 月 7 日（火）開催の定例教授会議事録について、原案のとおり承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議等報告

(1) 部局長連絡会議及び部局長懇談会

11 月 22 日に開催された部局長連絡会議及び部局長懇談会について、下記の報告があった。

- ① 平成 18 年度部局評価及び平成 18 年度研究科長等裁量経費について
- ② 非常勤講師の時間単価について
- ③ 大学院問題検討 WG の報告について
- ④ 学内 ESCO 事業について

このことに関して、省エネルギーの経営努力は、部局評価の対象となるとの付言があったこと。

- ⑤ 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大について
- ⑥ 百周年記念事業本部の設置について
- ⑦ 国立大学法人東北大学運営体制について

引き続き、部局長懇談会について、下記の報告があった。

- ⑧ 授業料標準額の改定等について
- ⑨ 推薦入学・AO 入試の実施状況について
- ⑩ 世界トップレベル研究拠点について

(2) 国立大学附置全国共同利用研究所・研究センター協議会第 3 回総会

所長から、11 月 22 日に開催された国立大学附置全国共同利用研究所・研究センター協議会第 3 回総会において、科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会の下に、今後の学術研究の推進体制に関する検討を行うための「学術研究の推進体制に関する作業部会」が設置されたとの報告があった旨、配付資料に基づき説明があった。

(3) 学生生活協議会

12 月 11 日に開催された学生生活協議会について、下記の報告があった。

- ① 川内北キャンパスサークル棟の搜索について
- ② 大学院学生の奨学金全学免除の方法について

(4) 片平まつり実行委員会

委員から、来年度の片平まつりは 7 月末に実施することになっており、そのためにスケジュールが前倒しになっていること及び、パンフレットの体裁を統一する方針であり、原稿締切りが 3 月頃となる可能性があるため、通研公開実行委員会の体制を早めに整えてほしいとの要請があった。

このことに関連して、議長から、本日の協議事項で諮る予定であるとの付言があった。

2. 運営会議等報告

(1) 研究企画戦略室

12月7日に開催した研究企画戦略室会議について、下記の報告があった。

- ① 11月末を締切りとしていた平成19年度振興調整費先端融合プログラムに対し、2件の申し出があり、より強力なプロジェクトとするために内容を検討していること。
- ② NECとのジョイントワークショップについて、何回かに分けて開催することとしたこと。第1回目は、実世界コンピューティング研究部及びブレインアーキテクチャ研究部のテーマを中心に、2月23日(金)に実施すること。なお、プログラム等の詳細については、1月に報告する予定であること。

(2) 安全衛生委員会

11月28日に開催した安全衛生委員会について、下記の報告があった。

- ① 1号館N棟4階講堂前の下足箱を固定することについて、下足箱の必要性を確認し、不要な場合は撤去することとしたこと。
- ② ごく微量のアスベストを含む器具を使用している事例があるとの報告に対し産業医から、アスベストを含有しているものは全学的に使用禁止であり、代替品について検討するように指示があったこと。
- ③ 新任の職員等に対する安全教育は、各研究室の責任で必ず実施し、その確認書を必ず提出してほしいこと。未提出者(5名)については、個別に依頼すること。
- ④ 高圧ガスボンベの適正管理について要請があったこと。通研では、各研究室に対し何度か指導し調査も行っているが、退職等により管理者がいなくなった研究室については、再調査の上、不必要なものは適切に処分したいこと。
- ⑤ 放射線障害防止法に基づく管理区域について、生命科学研究科で今後放射性物質を使用する計画があるため、事業所境界(2号館が生命科学研究科の管轄になる。)の変更を行うことになったこと。
- ⑥ アスベスト撤去工事に関連して、アスベスト粉じん濃度を測定した結果、基準値を大幅に下回っており問題はないこと。
- ⑦ 学生の結核健診のツベルクリン反応検査において強陽性と判定された学生がいるが、産業医から、自覚症状がある場合は、保健管理センターに相談してほしいとの指導があったこと。

(3) 総務委員会

委員長から、下記のことについて報告があった。

- ① 10月21・22日に実施した通研一般公開における収支について、配付資料に基づき報告があった。
- ② 通研文献DB(データベース)については、電通談話会記録のアブストラクト特集号編集のためにデータ収集していたが、アブストラクト特集号は2006年度分から廃止になることになった。全学的なDBもあるが、全学DBへのデータ入力、通研文献DBを基にやわらかセンターで行っており、利用者の負担は現状どおりであるので、通研の成果を蓄積するためにも通研文献DBについては、これまでどおり継続していきたいこと。
- ③ 研究活動報告のHPへの掲載について、現在は2004年度版資料編のみ掲載しているが、今後は全編を公開したいこと。

(4) 予算委員会

委員長から、平成18年度の予算の追加配分について、正式には1月の教授会で報告することとなるが、基準分野で616,000円を追加配分する予定であるとの報告があった。併せて、今後は、効率化係数1%が係ってくるため予算が更に減額されることになるので、外部資金の獲得に努力してほしい旨の要請があった。

なお、配分される経費については、正式な配分前でも執行可能である旨の付言があった。

(5) IT-21 センター運営委員会

11月20日に開催したIT-21センター運営委員会において、今後の運営方針について検討した結果、コアとなる新規プロジェクトを募集することとしたこと。募集の締切り等は後日改めて案内するが、新規プロジェクトについての提案がある場合は、IT-21 センター企画開発部に申し出てほしい旨の要請があった。併せて、IT-21 センターに参加するメリットとしては、下記の点が挙げられるとの付言があった。

- ① 場所、設備があること。
- ② ポスト（教授、助教授、助手）があること。
- ③ 事務局があること。
- ④ ランニングコストが確保されていること。

(6) 学部教務委員会

11月28日開催の系内学部教務委員会の通研関連事項について、配付資料により報告があった。なお、研究室配属のための研究室見学の通研の出席率は、1日目が90%で二日目が77%と今回を見る限りは、通研が避けられたというデータは見当たらないとの付言があった。

3. その他

(1) 研究所等研究生の受入れについて

議長から、配付資料に基づき、研究所等研究生の受入れについて報告があった。

(2) 産業技術総合研究所との研究交流会について

産業技術総合研究所との研究交流会について、テーマを有機デバイス及びナノデバイス関係として開催する予定であるとの報告並びに、日程については調整中で後日連絡するので、関連する分野の教員には協力願いたいとの発言があった。

II. 協議事項

1. 東北大学電気通信研究所放射線障害予防規程の改正について

配付資料に基づき、東北大学電気通信研究所放射線障害予防規程の改正について説明及び提案があり、承認した。

2. 委員会等委員の選出について

議長から、委員会等委員の選出について提案があり、承認した。

III. その他

(1) 「通研の研究者が語る未来」の原稿依頼について

配付資料に基づき、「通研の研究者が語る未来」の原稿執筆について説明があり、原稿の締切りは、平成19年1月5日として提出願いたいとの依頼があった。

なお、所長から、読者については専門及び専門外の研究者を対象としていること並びに、内容については個人の研究者として執筆してほしいこと。また、助手会との相談の結果、助手からも全員提出してもらうことになったとの付言があった。

(2) 東北大学 電気・情報 仙台フォーラム 2006 について

所長及び委員長から、11月24日（金）に仙台国際ホテルで開催した東北大学 電気・情報 仙台フォーラム 2006 について、200余名の参加があり盛会のうちに無事に終了した旨の報告並びに、協力

に対する謝辞があった。平成 19 年度は、東京フォーラムを予定しており次期委員長を中心に、準備中であること。

また、次期委員長から、現在は開催時期（11 月中旬）、会場の選定及び実行体制を検討しているとの報告並びに協力依頼があった。

(3) 第 22 回運営協議会について

所長から、12 月 6 日（水）13:30 からナノ・スピンド大会議室で開催した第 22 回運営協議会について、無事終了した旨の報告及び関係各位に対する謝辞があった。今回のテーマは全国共同利用研究所としての活動並びに、産学連携として、活発に議論していただいたこと。これらの提言を、今後の通研の運営に取り入れて行きたいとの付言があった。

(4) 研究環境基盤部会委員の附置研究所等の訪問について

所長から、12 月 11 日（月）に実施された科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会委員の通研訪問について、報告及び関係各位に対する謝辞があった。

通研からは、滞在型共同利用の実現及び、国際的なスケールでの共同研究について提案したこと。

また、研究環境基盤部会委員からは、素晴らしい成果を挙げているとお褒めの言葉をいただいたとの付言があった。

(5) 「イノベーター日本」の紹介について

所長から、配付資料のとおり「イノベーター日本」という本が出版されており、関心のある方はご一読願いたいとの紹介があった。

(6) 年末年始の庁舎管理について

経理課長から、年末年始の庁舎管理について、下記の報告及び依頼があった。

① 入口開閉時間 施錠時刻 平成 18 年 12 月 28 日（木）17:30

開錠時刻 平成 19 年 1 月 4 日（木）8:00

② 閉館期間内は原則立ち入り禁止であるが、特別の用務で登庁する場合は、警備員室に備え付けの「入室者名簿」に所要事項を記載の上、入庁すること。

(7) 次回の開催について

平成 19 年 1 月 9 日（火）14:00 から開催することとした。